

Yahoo!広告 スクリプト レポート機能の活用について

LINEヤフー

Contents

- 01** Yahoo!広告 スクリプトとは
- 02** 利用開始方法
- 03** レポート出力の自動化
- 04** レポートのメール通知
- 05** レポート機能を利用したアラート
- 06** よくあるご質問

Yahoo!広告 スクリプトとは

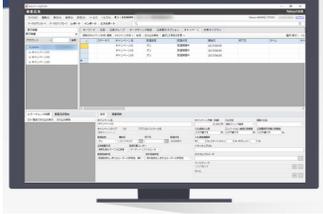
Yahoo!広告 スクリプトとは

Yahoo!広告（検索広告・ディスプレイ広告）の入稿や配信設定変更、レポート作成を自動化できる、JavaScriptベースの運用支援ツールです。Google スプレッドシートなどの外部サービスやYahoo!天気・災害などのYahoo! JAPANのサービスへの連携にも対応しています



他ソリューションとの比較

Yahoo!広告 スクリプトは、キャンペーンエディターよりも柔軟性があり、Yahoo!広告 APIよりも導入していただきやすいツールです。言い換えれば、広告管理ツールで実行していただいている機能を自動化できるツールです

	広告管理ツール	検索広告 入稿支援ツール キャンペーンエディター	Yahoo!広告 API	Yahoo!広告 スクリプト
				
概要	ブラウザから利用でき、入金からレポートまで、Yahoo!広告の運用操作が可能	Windowsのアプリケーションとして動作し、大量入稿データの一括操作を行うことが可能	Yahoo!広告の各データへアクセスができ、自社ツールなどへの組み込みや業務自動化、運用カスタマイズが可能	スクリプトを登録することで、業務自動化やカスタマイズが可能※1
エンジニアの確保	不要	不要	必要	不要※2
インフラ環境の準備	不要	不要	必要	不要

※1：広告管理ツールの一機能として提供されます。

※2：JavaScriptの知見が必要となりますが、サンプルスクリプト等の参考情報を活用いただければ、どなたでもご利用いただけます。

ご活用のメリット

Yahoo!広告 スクリプトをご活用いただくことで、少ないコストで広告運用の自動化・システム化を進めることが可能です

- **導入コストが不要**

Yahoo!広告をご利用いただいている方であれば、広告管理ツールからどなたでもご利用可能です

- **専門的な知識がなくても活用可能**

JavaScriptがわからなくても豊富なサンプルスクリプトを使用することで活用が可能です

- **カスタマイズ可能**

運用に慣れてきたら、案件ごとに自由にカスタマイズ可能です

Yahoo!広告 スクリプトでできること

Yahoo!広告 スクリプトを活用いただくことで、以下に挙げたようなことが実現できます。
また、組み合わせ次第でできることは無限に広がります

難易度：低

- レポートの自動出力
- レポート機能を利用したアラート
- オフラインコンバージョンの自動インポート
- 画像/オーディエンスリストの自動アップロード
- アドカスタマイザーの差し替え
- 条件による配信オンオフ/入札調整/予算変更
- 天気連動による入札調整・配信オンオフ

など

難易度：高

利用開始方法

利用開始方法

1. Yahoo!広告の広告管理ツールへログイン

広告管理ツールの「ツール」 - 「Yahoo!広告スクリプト」をクリック

The screenshot shows the Yahoo! Ads management interface. The top navigation bar includes the Yahoo! logo, account name, and various utility icons. A dropdown menu is open under the 'Tools' icon, which is highlighted with a red box. The menu items are categorized into 'ライブラリー' (Library), '運用支援' (Operational Support), '明細と資金管理' (Details and Financial Management), 'アカウントと権限管理' (Account and Permission Management), and '企業' (Company). The 'Yahoo!広告 スクリプト' (Yahoo! Ad Scripts) option is highlighted with a red box. Below the menu, a table displays campaign data with columns for '配信設定' (Distribution Settings), 'キャンペーン名' (Campaign Name), 'キャンペーンID' (Campaign ID), '配信状況' (Distribution Status), 'キャンペーンタイプ' (Campaign Type), '入札戦略' (Bidding Strategy), and '1日の予算' (Daily Budget).

配信設定	キャンペーン名	キャンペーンID	配信状況	キャンペーンタイプ	入札戦略	1日の予算
<input type="checkbox"/>	合計					
<input type="checkbox"/>	●	キャンペーンターゲットテストfromPostman2	4399108	有効 ⓘ	標準	個別クリック単価 ¥100

参照: [Yahoo!広告 スクリプトの作成・実行](#)

利用開始方法

2. Yahoo!広告 スクリプトの管理画面へ遷移

YAHOO! JAPAN 広告 テスト [アカウント選択]

Yahoo! JAPAN
ビジネスID

外部ツール連携 ヘルプ

Yahoo!広告 スクリプト

スクリプト 実行履歴

新規作成

古いランタイムのスクリプトのみを表示 無効なスクリプトを表示

スクリプト名	最終更新者	実行頻度	最終更新日	ステータス
sample03		未設定	2023/01/11 16:38:20	有効
sample02		未設定	2023/01/11 16:38:08	有効
sample01		未設定	2023/01/11 16:19:23	有効

[プライバシー](#) - [利用規約](#) - [広告取扱基本規定](#) - [Yahoo! JAPANビジネスID利用規約](#) - [免責事項](#) - [ヘルプ](#)

© Yahoo Japan

レポート出力の自動化

活用例) Googleスプレッドシートへの自動出力

広告管理ツールからキャンペーンレポートをダウンロードして、Googleスプレッドシートに貼り付けるという一連の作業を自動化します

1. Googleアカウントとの連携をする

ポイント：Googleアカウント側のアクセスを求める画面で「すべて選択」を選択

Yahoo!広告 スクリプトが Google
アカウントへのアクセスを求めて
います

Yahoo!広告 スクリプトがアクセスできる情報を選択してください

すべて選択

Google ドライブのすべてのファイルの表示、ダウンロードです。 [詳細](#)

このアプリで使用する Google ドライブ上の特定のファイルのみの参照、編集、作成、削除です。 [詳細](#)

Google スプレッドシートのすべてのスプレッドシートの参照、編集、作成、削除です。 [詳細](#)

※一連の設定手順を動画で確認するならこちらから

活用例) Google スプレッドシートへの自動出力

広告管理ツールからキャンペーンレポートをダウンロードして、Googleスプレッドシートに貼り付けるという一連の作業を自動化します

2. Google スプレッドシートを用意する

ポイント：すでにレポート出力先のスプレッドシートがある場合は事前に開いておく

3. Developer Centerの基本のレポートにあるサンプルコードをコピーする

ポイント：すでにレポート出力先のスプレッドシートがある場合は事前に開いておく

1. 検索広告のキャンペーンレポート (今月、フィルタ指定なし)

サンプルコード

①マウスでドラッグ

```
function main() {
  const spreadsheetId = "スプレッドシートID"; //...(1)
  const sheetName = "シート"; //...(2)
  const ss = SpreadsheetApp.openById(spreadsheetId);
  let sh = ss.getSheetByName(sheetName);
  sh.clear();
  const reportData = AdUtilities.getSearchReport({
    accountId: AdUtilities.getCurrentAccountId(), // 実行中のアカウントを取得します
    reportType: "CAMPAIGN", //...(3)
    fields: [
      "ACCOUNT_NAME", "CAMPAIGN_NAME", "IMPS", "CLICKS", "COST", "CONVERSIONS" //...(4)
    ],
    reportDateRangeType: "THIS_MONTH", //...(5)
    reportSkipColumnHeader: "FALSE", //...(6)
  });
  sh.getRange("A1").setValues(reportData); //スプレッドシートへの書き込み処理
}
```

②マウスを右クリック→コピー

コピー Ctrl+C

選択箇所へのリンクをコピー

Yahoo! JAPAN で「function main() { const spreadsheetId = "」を検索

印刷... Ctrl+P

検証

※一連の設定手順を動画で確認するならこちらから

活用例) Googleスプレッドシートへの自動出力

広告管理ツールからキャンペーンレポートをダウンロードして、Googleスプレッドシートに貼り付けるという一連の作業を自動化します

5. 実行頻度を設定する

ポイント：設定できている場合は、「実行頻度」列に設定した実行頻度が表示される

スクリプト名	最終更新者	実行頻度	最終更新日 
検索広告キャンペーンレポート		毎日 07:00 	2023/11/28 10:37:06

※一連の設定手順を動画で確認するならこちらから

レポートのメール通知

活用例) 作成したレポートをメールで自動通知する

Google スプレッドシートに貼り付けたレポートをメールで通知するという一連の作業を自動化します

1. Developer Centerのメールのサンプルスクリプトをコピーする

ポイント: 下図のようにマウスでドラッグしてコピーする



※一連の設定手順を動画で確認するならこちらから

活用例) 作成したレポートをメールで自動通知する

Google スプレッドシートに貼り付けたレポートをメールで通知するという一連の作業を自動化します

2. サンプルスクリプトをすでにあるスプレッドシートの自動出カスクリプトの末尾に貼り付け、すでにあるスクリプトから呼び出す

ポイント：既存スクリプトの下に貼り付ける際、}を削除すると動かなくなるため、既存スクリプトの}を削除しないようにする。



```
スクリプト名 検索広告キャンペーンレポート

1 function main() {
2   const spreadsheetId = 'スプレッドシートID'; //... (1)
3   const sheetName = 'シート1'; //... (2)
4   const ss = SpreadsheetApp.openById(spreadsheetId);
5   let sh = ss.getSheetByName(sheetName);
6   sh.clear();
7   const reportData = AdsUtilities.getSearchReport({
8     accountId: AdsUtilities.getCurrentAccountId(), // 実行中のアカウントを取得します
9     reportType: 'CAMPAIGN', //... (3)
10    fields: [
11      'ACCOUNT_NAME', 'CAMPAIGN_NAME', 'IMPS', 'CLICKS', 'COST', 'CONVERSIONS' //... (4)
12    ],
13    reportDateRangeType: 'THIS_MONTH', //... (5)
14    reportSkipColumnHeader: 'FALSE', //... (6)
15  }).reports[0].rows; // 戻り値の1つ目のレポート行を取得
16  sh.getRange('A1').setValues(reportData); // スプレッドシートへの書き込み処理
17 }

18
19 function sendSimpleEmail() {
20   MailApp.sendEmail({
21     to: ['<Yahoo! JAPAN Business ID>'], // write one or more.
22     subject: '<SIMPLE_MAIL_TITLE>',
23     body: '<SIMPLE_MAIL_BODY>',
24   });
25 }
```

※一連の設定手順を動画で確認するならこちらから

活用例) 作成したレポートをメールで自動通知する

Google スプレッドシートに貼り付けたレポートをメールで通知するという一連の作業を自動化します

2. サンプルスクリプトをすでにあるスプレッドシートの自動出カスクリプトの末尾に貼り付け、すでにあるスクリプトから呼び出す

ポイント：既存スクリプトの}の前にsendSimpleEmail();を入れることで、メール送信処理を実行できるようにしているため、既存スクリプトの}の前にsendSimpleEmail();を入れ忘れると、メール送信処理が実行されない

```
スクリプト名 検索広告キャンペーンレポート

1 function main() {
2   const spreadsheetId = 'スプレッドシートID'; //...(1)
3   const sheetName = 'シート1'; //...(2)
4   const ss = SpreadsheetApp.openById(spreadsheetId);
5   let sh = ss.getSheetByName(sheetName);
6   sh.clear();
7   const reportData = AdsUtilities.getSearchReport({
8     accountId: AdsUtilities.getCurrentAccountId(), // 実行中のアカウントを取得します
9     reportType: 'CAMPAIGN', //...(3)
10    fields: [
11      'ACCOUNT_NAME', 'CAMPAIGN_NAME', 'IMPS', 'CLICKS', 'COST', 'CONVERSIONS' //...(4)
12    ],
13    reportDateRangeType: 'THIS_MONTH', //...(5)
14    reportSkipColumnHeader: 'FALSE', //...(6)
15  }).reports[0].rows; // 戻り値の1つ目のレポート行を取得
16  sh.getRange('A1').setValues(reportData); // スプレッドシートへの書き込み処理
17
18  sendSimpleEmail(); // ←②既存スクリプトの}の前に貼り付けて、最後に;(セミicolon)を付ける
19 }
20
21 function sendSimpleEmail()
22 {
23   MailApp.sendEmail({
24     to: ['<Yahoo! JAPAN Business ID>'], // write one or more.
25     subject: '<SIMPLE_MAIL_TITLE>',
26     body: '<SIMPLE_MAIL_BODY>',
27   });
28 }
```

※一連の設定手順を動画で確認するならこちらから

活用例) 作成したレポートをメールで自動通知する

Google スプレッドシートに貼り付けたレポートをメールで通知するという一連の作業を自動化します

3. メールタイトル、メール送信先のYahoo! JAPANビジネスID、メール本文を指定する

ポイント1 : メールにtoに指定できるのはYahoo! JAPANビジネスID (以下、ビジネスID) のみ。
ビジネスIDに設定されているメールアドレスに対してメールが送信される。

ポイント2 : 複数送信先を指定したい場合は、以下のようにカンマ区切りで10個まで指定可能。
to:['abcde12345', 'fghij12345']

```
20
21 function sendSimpleEmail(){
22   MailApp.sendEmail({
23     to: ['abcde12345', 'fghij12345'], //write one or more.
24     subject: '検索キャンペーンレポート',
25     body: '検索キャンペーンレポートが以下のスプレッドシートに出力されました。'
26   });
27 }
```

※一連の設定手順を動画で確認するならこちらから

活用例) 作成したレポートをメールで自動通知する

Google スプレッドシートに貼り付けたレポートをメールで通知するという一連の作業を自動化します

3. メールタイトル、メール送信先のYahoo! JAPANビジネスID、メール本文を指定する

ポイント3: 各項目の両脇にある' (シングルクォーテーション) は消さない

```
20
21 function sendSimpleEmail(){
22   MailApp.sendEmail({
23     to: ['abcde12345', 'fghij12345'], //write one or more.
24     subject: '検索キャンペーンレポート',
25     body: '検索キャンペーンレポートが以下のスプレッドシートに出力されました。'
26   });
27 }
```

ポイント4: ¥nで改行して、スプレッドシートのURLを記載する

```
20
21 function sendSimpleEmail(){
22   MailApp.sendEmail({
23     to: ['abcde12345', 'fghij12345'], //write one or more.
24     subject: '検索キャンペーンレポート',
25     body: '検索キャンペーンレポートが以下のスプレッドシートに出力されました。 \n https://docs.google.com/spreadsheets/d/1hFZRLN5tEx-NyrXbihClE01EbpT4Q5w0y48-LgOYmw8/edit#gid=0'
26   });
27 }
```

※一連の設定手順を動画で確認するならこちらから

活用例) 作成したレポートをメールで自動通知する

[Yahoo!広告 スクリプト:スクリプト個別の数字]の後にスクリプトで設定したタイトルが表示されます。

-----と-----の間に挟まれた部分がスクリプトで設定した本文です

実際に届くメール例

※以下はあくまで一例であり、見た目はメールソフトによって多少の誤差があります

The screenshot shows an email interface. At the top, the subject line is "[Yahoo!広告 スクリプト:14331] 検索キャンペーンレポート", with "検索キャンペーンレポート" highlighted in a red box and labeled "スクリプトで設定したタイトル". Below the subject line is a sender's profile with a circular icon containing the letter 'Y' and a redacted name. To the right of the profile are icons for a smiley face and a reply button labeled "返信". Below the profile, there are three buttons: "確認しました.", "よろしくお願いたします.", and "よろしくお願いたします.", followed by a "フィードバック" button. The main body of the email contains the text: "このメールは Yahoo!広告 スクリプト：検索広告キャンペーンレポート（14331）で設定した内容に従い送信しています。以下が本文です。" followed by a red dashed line and the label "スクリプトで設定した本文". The main content is enclosed in a red box and contains the text: "検索キャンペーンレポートが以下のスプレッドシートに出力されました。" followed by a blue box containing "ここにスプレッドシートのURLが表示されます。" and "※メールソフトのセキュリティ機能により、表示URLが長くなることがあります。". At the bottom, there is a footer with the text: "メール本文に関するお問い合わせは Yahoo!広告では対応致しかねますのでご了承ください。" and "※このメールは送信専用のメールアドレスより自動送信されています。ご返信いただきましても対応いたしかねますので、ご了承ください。"

※一連の設定手順を動画で確認するならこちらから

レポート機能を利用したアラート

活用例) 特定の予算を超えた場合に通知する

キャンペーンの予算が10万円を超えた場合など、特定の指標を超えた場合の通知を自動化できます

1. コスト超過通知のサンプルスクリプトをコピーする

ポイント：下図のようにマウスでドラッグしてコピーする

Webinarデモ-コスト超過通知

※このソースコードは MIT License のもとで提供されています。
<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-script/post/30418913.html>

スクリプト内容：指定したコスト以上になったキャンペーンの一覧をスプレッドシートに出力し、メールで通知する

①マウスでドラッグ ※一番下の}までドラッグするのを忘れなく！

```
function main() {
const SPREAD_SHEET_ID = 'SPREAD_SHEET_ID'; //★書き出すスプレッドシートID
const SHEET_NAME = 'シート1'; //★スプレッドシートのシート名
const TARGET_COST = 100000; //★通知対象としたいコストの値を入力
const CAMPAIGN_IDS = ['123456', '234567']; //★判定対象のキャンペーンIDを指定
const MAIL_TO = ['abcde12345']; //★メール通知先のビジネスIDを指定
const MAIL_TITLE = 'コスト超過キャンペーン通知'; //★メールタイトルを指定
const MAIL_HONBUN = '指定したコスト以上になっているキャンペーンがありました。対象はスプレッドシート'
    + 'https://docs.google.com/spreadsheets/d/' + SPREAD_SHEET_ID; //★メール本文を指定
const accountId = AdsUtilities.getCurrentAccountId();
//スプレッドシート
const ss = SpreadsheetApp.openById(SPREAD_SHEET_ID);
let sh = ss.getSheetByName(SHEET_NAME);
sh.clear(); //既存行をクリア
//レポート取得
const reportData = AdsUtilities.getSearchReport({
  accountId: accountId,
  fields: [
    'ACCOUNT_NAME', 'CAMPAIGN_ID', 'CAMPAIGN_NAME', 'IMPS', 'CLICKS', 'COST', 'CONVERSIONS'
  ],
  filters: [
    {
      field: 'COST',
```

②マウスで右クリック→コピー

- コピー (Ctrl+C)
- 選択箇所へのリンクをコピー
- Yahoo! JAPAN で(function main) (const SPREAD_SHEET_ID = '...')を検索
- 印刷... (Ctrl+P)
- リーディングモードで開く [詳細](#)
- 検証

※一連の設定手順を動画で確認するならこちらから

活用例) 特定の予算を超えた場合に通知する

キャンペーンの予算が10万円を超えた場合など、特定の指標を超えた場合の通知を自動化できます

2. サンプルをスクリプト管理画面に貼り付け、以下の項目を設定する

- スプレッドシートID
- シート名
- 通知したいコスト
- 対象キャンペーンID
- メール送信先ビジネスID
- 必要に応じてメールタイトル、メール本文を変更

ポイント1: コスト以外の各項目の両脇にある' (シングルクォーテーション) は消さない

```
1 function main() {
2   const SPREAD_SHEET_ID = 'SPREAD_SHEET_ID'; //★書き出すスプレッドシートID
3   const SHEET_NAME = 'シート1'; //★スプレッドシートのシート名
4   const TARGET_COST = 100000; //★通知対象としたいコストの値を入力
5   const CAMPAIGN_IDS = ['123456', '234567']; //★判定対象のキャンペーンIDを指定
6   const MAIL_TO = ['abcde12345']; //★メール通知先のビジネスIDを指定
7   const MAIL_TITLE = 'コスト超過キャンペーン通知'; //★メールタイトルを指定
8   const MAIL_HONBUN = '指定したコスト以上になっているキャンペーンがありました。対象はスプレッドシートをご確認ください。 \n' +
9     'https://docs.google.com/spreadsheets/d/' + SPREAD_SHEET_ID; //★メール本文を指定
10
11  const accountId = AdsUtilities.getCurrentAccountId();
12  //スプレッドシート
```

※一連の設定手順を動画で確認するならこちらから

活用例) 特定の予算を超えた場合に通知する

キャンペーンの予算が10万円を超えた場合など、特定の指標を超えた場合の通知を自動化できます。

2. サンプルをスクリプト管理画面に貼り付け、以下の項目を設定する

ポイント2：対象キャンペーンID には、同じ予算感のキャンペーンを指定するのがおすすめ。2つ以上指定する場合は、['123456','234567','345678'] のように,(カンマ)で 連結する

例) アカウント内に下図のキャンペーンがある場合、123456、234567を指定します。

キャンペーンID	日予算
123456	12万円
234567	12万円
345678	30万円
456789	30万円
567890	50万円

```
1 function main() {
2   const SPREAD_SHEET_ID = 'SPREAD_SHEET_ID'; //★書き出すスプレッドシートID
3   const SHEET_NAME = 'シート1'; //★スプレッドシートのシート名
4   const TARGET_COST = 100000; //★通知対象としたいコストの値を入力
5   const CAMPAIGN_IDS = ['123456', '234567']; //★判定対象のキャンペーンIDを指定
6   const MAIL_TO = [ 'abcde12345' ]; //★メール通知先のビジネスIDを指定
7   const MAIL_TITLE = 'コスト超過キャンペーン通知'; //★メールタイトルを指定
8   const MAIL_HONBUN = '指定したコスト以上になっているキャンペーンがありました。対象はスプレッドシートをご確認ください。 \n' +
9     | 'https://docs.google.com/spreadsheets/d/' + SPREAD_SHEET_ID; //★メール本文を指定
10
11  const accountId = AdsUtilities.getCurrentAccountId();
12  //スプレッドシート
```

※一連の設定手順を動画で確認するならこちらから

活用例) 特定の予算を超えた場合に通知する

キャンペーンの予算が10万円を超えた場合など、特定の指標を超えた場合の通知を自動化できます

3. 実行頻度を設定する

ポイント3：あまり早い時間だと前日データが反映しきれない場合があるため、朝5時以降がおすすめ

スクリプト名	最終更新者	実行頻度
コストが10万円以上のキャンペーン出力・通知		毎日 07:00 

※一連の設定手順を動画で確認するならこちらから

活用例) 顧客獲得単価 (CPA) が超過したら通知する

CPAが1000円を超えた場合など、特定の指標を超えた場合の通知を自動化できます

1. コスト超過通知のサンプルスクリプトをコピーする

ポイント: 下図のようにマウスでドラッグしてコピーする

Webinarデモ-コスト超過通知

※このソースコードは MIT License のもとで提供されています。
<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-script/post/30418913.html>

スクリプト内容: 指定したコスト以上になったキャンペーンの一覧をスプレッドシートに出力し、メールで通知する

①マウスでドラッグ ※一番下の}までドラッグするのを忘れなく!

```
function main() {
const SPREAD_SHEET_ID = 'SPREAD_SHEET_ID'; //★書き出すスプレッドシートID
const SHEET_NAME = 'シート1'; //★スプレッドシートのシート名
const TARGET_COST = 100000; //★通知対象としたいコストの値を入力
const CAMPAIGN_IDS = ['123456', '234567']; //★判定対象のキャンペーンIDを指定
const MAIL_TO = ['abcde12345']; //★メール通知先のビジネスIDを指定
const MAIL_TITLE = 'コスト超過キャンペーン通知'; //★メールタイトルを指定
const MAIL_HONBUN = '指定したコスト以上になっているキャンペーンがありました。対象はスプレッドシート'
    + 'https://docs.google.com/spreadsheets/d/' + SPREAD_SHEET_ID; //★メール本文を指定
const accountId = AdsUtilities.getCurrentAccountId();
//スプレッドシート
const ss = SpreadsheetApp.openById(SPREAD_SHEET_ID);
let sh = ss.getSheetByName(SHEET_NAME);
sh.clear(); //既存行をクリア
//レポート取得
const reportData = AdsUtilities.getSearchReport({
  accountId: accountId,
  fields: [
    'ACCOUNT_NAME', 'CAMPAIGN_ID', 'CAMPAIGN_NAME', 'IMPS', 'CLICKS', 'COST', 'CONVERSIONS'
  ],
  filters: [
    {
      field: 'COST',
```

②マウスで右クリック→コピー

- コピー (Ctrl+C)
- 選択箇所へのリンクをコピー
- Yahoo! JAPAN でfunction main() (const SPREAD_SHEET_ID = '...')を検索 (Ctrl+P)
- 印刷...
- リーディングモードで開く (新規)
- 検証

※一連の設定手順を動画で確認するならこちらから

活用例) 顧客獲得単価 (CPA) が超過したら通知するなど

CPAが1000円を超えた場合など、特定の指標を超えた場合の通知を自動化できます

2. コスト超過通知のサンプルスクリプトの「COST」 (コスト) 箇所を確認したい指標に変更する

主な指標

指標名	スクリプトでの値
インプレッション数	IMPS
クリック数	CLICKS
クリック率	CLICK_RATE
平均CPC	AVG_CPC
コンバージョン数	CONVERSIONS
コンバージョン率	CONV_RATE
コンバージョンの価値	CONV_VALUE
コスト/コンバージョン数	COST_PER_CONV
コンバージョンの価値/コンバージョン数	VALUE_PER_CONV

```
14 let sh = ss.getSheetByName(SHEET_NAME);
15 sh.clear();//既存行をクリア
16 //レポート取得
17 const reportData = AdsUtilities.getSearchReport({
18   accountId: accountId,
19   fields: [
20     'ACCOUNT_NAME', 'CAMPAIGN_ID', 'CAMPAIGN_NAME', 'IMPS', 'CLICKS', 'COST', 'CONVERSIONS'
21   ],
22   filters: [//フィルター
23     {//指定したコスト
24       field: 'COST',
25       filterOperator: 'GREATER_THAN',
26       values: [TARGET_COST]
27     }, {//指定したキャンペーンID
28       field: 'CAMPAIGN_ID',
29       filterOperator: 'IN',
30       values: CAMPAIGN_IDS
31     }
32   ],
33   reportDateRangeType: 'YESTERDAY',
34   reportType: 'CAMPAIGN',
35   reportSkipColumnHeader: 'FALSE',
36   sortFields: [//並び順
37     {//コストの多い順
38       field: "COST",
39       reportSortType: "DESC"
40     }
41   ]
42 }).reports[0].rows;
```

※一連の設定手順を動画で確認するならこちらから

よくあるご質問

	Q	A
1	<p>MCC全体のレポートは作れますか？ デイリーのコストやコンバージョン数のレポート を作りたいです。</p>	<p>作れます。 Developer Centerのソリューション> MCC配下のアカウントサマリーレポー トをご確認ください。</p>
2	<p>レポートデータの期間「THIS_MONTH」は今日を 含む今月でしょうか？</p> <p>今月（今日を含まない）でレポートをだすことは 可能でしょうか？</p>	<p>今日を含む今月です。 今日を含まない今月は「THIS_MONTH_EXCEPT_TODAY」をお使いください。</p> <p>[設定例] <code>reportDateRangeType:'THIS_MONTH_EXCEPT_TODAY',</code></p> <p>以下Developer Centerのリファレンスから、他に設定可能な値をご確認いた だけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検索広告 ・ディスプレイ広告
3	<p>広告費、インプレッション、クリック数のいずれか の数値が1以上になっているキャンペーンのみ書き 出すスクリプトはどのように設定すればよいでしょ うか？</p>	<p>こちらのサンプルをお使いください。</p>

Q

A

4

ディスプレイ広告のレポートのスク립トで「CUSTOM_DATE」で出力するとendDATEの部分でエラーが出て出力できませんでした。

同じようにコピペして検索広告ではできたのにディスプレイ広告だけできなかったのでやり方を知りたいです。

以下Developer Centerのソリューション>基本のレポートの「[応用：期間を自由に指定したい場合](#)」をご確認ください。
検索広告・ディスプレイ広告ともに使い方は同じなので、以下に挙げているような原因でエラーになっている可能性が高いです。

1. 最後のコンマが消えてしまっている

以下の赤字部分です。

```
reportDateRangeType: 'CUSTOM_DATE',  
dateRange: {  
  startDate: '20230101', //開始日をYYYYMMDD形式で指定  
  endDate: '20230228' //終了日をYYYYMMDD形式で指定  
},
```

2. reportDateRangeType: 'CUSTOM_DATE'ではないreportDateRangeTypeが残っている

以下の赤字部分です。

～省略～

```
reportDateRangeType: 'THIS_MONTH', //ここがコメントアウトされず残っている  
reportDateRangeType: 'CUSTOM_DATE',  
dateRange: {  
  startDate: '20230101', //開始日をYYYYMMDD形式で指定  
  endDate: '20230228' //終了日をYYYYMMDD形式で指定  
},
```

～省略～

```
}
```

3. endDateがendDATEになっているなど、本来の項目名と変わってしまっている

	Q	A
5	<p>スクリプトを使って、Google スプレッドシートにあるデータを読み込んで、オフラインコンバージョンのアップロードができますか？</p>	<p>文字コードの関係でできません。Googleドライブ経由でのアップロードであれば、Developer Centerのソリューション>Googleドライブ経由のコンバージョンインポートのように実施可能です。</p>
6	<p>代理店フィーを上乗せしてスプレッドシートに出力可能でしょうか？</p>	<p>Yahoo!広告 スクリプトで出力できるデータは、Yahoo!広告で提供しているデータのみですので、単体では不可です。</p> <p>代理店フィーなどのデータをお客様が事前にスプレッドシートでご準備いただいて、それを掛け合わせて結果を出力するというのは可能ではありますが、かなりテクニカルなスクリプトになります。</p>
7	<p>Yahoo!広告 スクリプトを使うにあたり、必ず不明点や質問が出てくるとは思いますが、そのような不明点があった場合、LINEやフーのサポートはどのような体制でしょうか？</p>	<p>大変申し訳ございませんが、個別のスクリプトに関するお問い合わせに関して、現状のお問い合わせ窓口では対応しておりません。</p> <p>スクリプトの書き方等でお困りの際には、まずはDeveloper Centerにあるサンプルライブラリをご確認ください。</p>

Q

A

8

当日のコストが一定値を超えたらアラートを送ることは可能でしょうか。

可能です。
本資料のP24と同様に[コスト超過通知のサンプルスクリプト](#)内にある `reportDateRangeType: 'YESTERDAY'`, を `reportDateRangeType: 'TODAY'`, に変えていただくだけで実現できます。

9

日別×コンバージョン名別のレポートなどの出力は可能でしょうか？
可能であれば先述に加えてキャンペーン別や広告別でも出力したいです。

可能です。
以下のように、日付 (DAY) やコンバージョン名 (CONVERSION_NAME) をレポートのfieldsに含めていただく形です。

[設定例]

```
fields: [  
  'DAY','CONVERSION_NAME','CONVERSIONS'  
],
```

詳細はDeveloper Centerのソリューション>基本のレポートの「[fieldsで出力項目を指定します。](#)」の部分をご覧ください。

Q

A

10

日付の期間を特定日から当日までで設定したいのですが設定できますか？

可能です。
以下Developer Centerのソリューション>基本のレポートの「[応用：期間を自由に指定したい場合](#)」を参考に、スクリプトを作成してください。

一番簡単な方法は、endDateに未来の日付を設定することです。
endDateに動的な値（本日が何日か取得して設定）を設定することも可能ですので、[こちらのサンプル](#)をお使いください。

11

アクセスレベルはSee, edit, create and delete only the specific Google Drive files that you use with this app.だけでは動きませんか？

レポートをスプレッドシートに書き込みをする場合は、少なくとも以下画像の3つ目は必要です。

スプレッドシートへの書き込みを使わず、Googleドライブ操作のスクリプトを作る場合であれば、Googleドライブの権限のみとなります。

※Google側での権限の扱いについては、弊社からはあくまでも参考という形のご案内とさせていただきます。



	Q	A
12	カスタム指標は超過確認可能でしょうか？	カスタム指標については、Yahoo!広告 スクリプトからカスタム指標への参照ができないため、不可となっております。
13	数値抽出するキャンペーンをフィルタリングすることはできますか？	可能です。 レポートでのフィルターについては、Developer Center> ソリューション> レポートのフィルター・並べ替え をご確認ください。
14	ChatGPTを使いスクリプトの修正をしたり、細かい要望をしたりしていますが、そのような使い方は問題ないでしょうか？	全く問題ございませんが、1つだけ注意点がございます。 2023年2月にリリースさせていただきましたYahoo!広告 スクリプトの情報については、ChatGPTの学習データとして含まれていない可能性がございます。

Q

15

「[MCC配下のアカウントサマリーレポート](#)」を使って、日付単位ではなく指定した期間単位で出力する方法はありますか？

A

以下の手順で「[MCC配下のアカウントサマリーレポート](#)」のサンプルスクリプトを修正いただければ日付単位ではなく、指定した期間単位での出力が可能です。

1. REPORT_FIELDS_YSA または REPORT_FIELDS_YDAから「DAY,」を削除
(図の赤枠部分)



2. サンプル内の以下の記述を削除 (検索広告・ディスプレイ広告共通)

```
sortFields: [{
  field: 'DAY',
  reportSortType: 'ASC'
}]
```

[解説]

1. REPORT_FIELDS_YSA または REPORT_FIELDS_YDAから「DAY,」を削除

fieldsの定義から「DAY」を削除することで、日付での分割が解除されて、指定した期間の単位での集計となります。

例) 今月 (今日を含まない) を指定した場合、今月 (今日を含まない) 単位で集計された値が出力される

2. サンプルスクリプト内の以下の記述を削除

sortFields で指定できるのはfieldsで指定した項目のみとなります。1でfieldsの定義から「DAY」を削除したため、sortFieldsに「DAY」が残っているとエラーになるため、sortFieldsごと削除します。

※sortFieldsの考え方については、以下のDeveloper Centerのソリューション> [レポートのフィルター・並べ替え](#)をご確認ください。

参考資料

Yahoo!広告 スクリプトの関連情報や最新情報は以下のサイトよりご確認ください。

- [Yahoo!広告 スクリプト](#)
↳ Developer Centerウェブサイト
- **LINEヤフー for Business**
↳ [Yahoo!広告 スクリプト関連記事](#)
↳ [Yahoo!広告 お知らせ](#)

LINEヤフー

Yahoo!広告 スクリプト

<https://ads-developers.yahoo.co.jp/ja/ads-script/>